

関西ハンガリー交流協会の沿革

ハンガリーと日本には140年以上に及ぶ国交があり、経済・文化・学術研究など幅広い分野で多様な交流があります。これを反映して東京には日本ハンガリー友好協会(全国に支部)があつて活発に活動しています。

関西ハンガリー交流協会は関西での友好交流を推進する団体がほしいという当時のラーツ・イシュトバーン駐日ハンガリー大使の要望もあつて、ハンガリーを愛する人たちやハンガリーにご縁のある企業・団体が中心となり1994年に設立されました。

初代会長にはハンガリー人学者の気概に感銘していた大阪大学学長(当時)故・金森順次郎が就任。もともとハンガリーと関西の関係は古く、[京都工芸繊維大学が所蔵するジョルナイの逸品](#)は1900年代初頭に購入したものですし、1940年には関西日洪協会(当時)が日本における最初のハンガリー語講習会を行っており、翌1941年には「[ハンガリー語初等文典](#)」(コピーが事務局にあります)を出版しています。



また、直近ではハンガリーを中心にした総合的地域論を研究する「ハンガリー学会」が関西で設立されています。



現在、当協会はもっともっとハンガリーを好きになりたいという人たちが気軽に集まれるようにと音楽、映画、ハンガリーワインや料理、旅行等の楽しい催しを開いています。また、年2回発行している会報誌では、様々な分野からハンガリーに関する情報を紹介しています。

これらの活動を通じてハンガリーをより深く理解し、ハンガリーとのよりよい交流に役立てたいと思っております。

